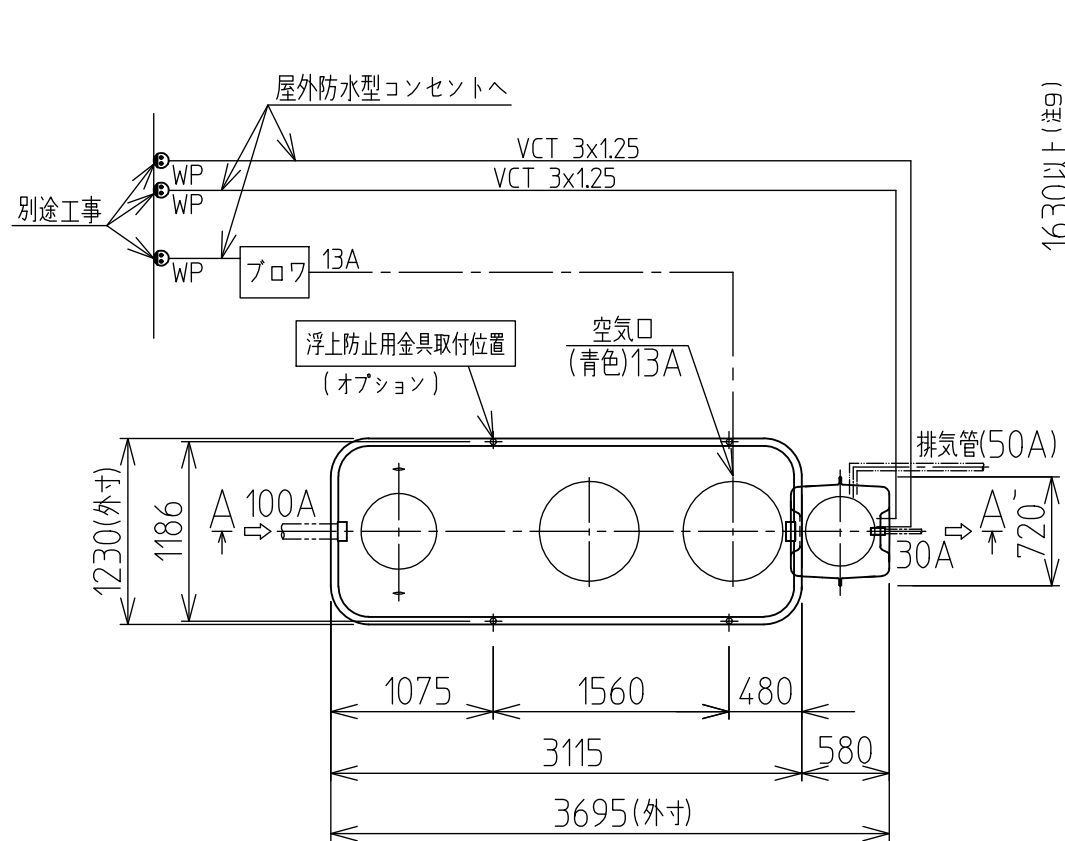
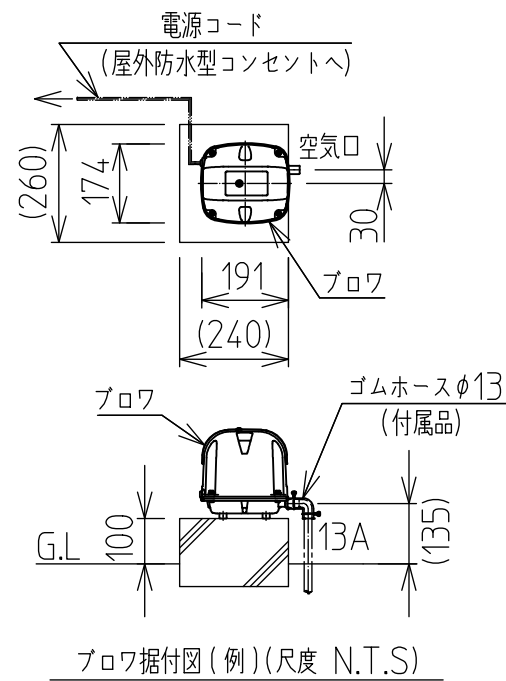
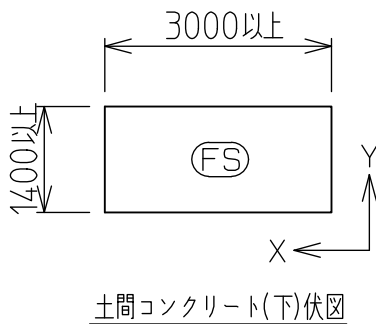
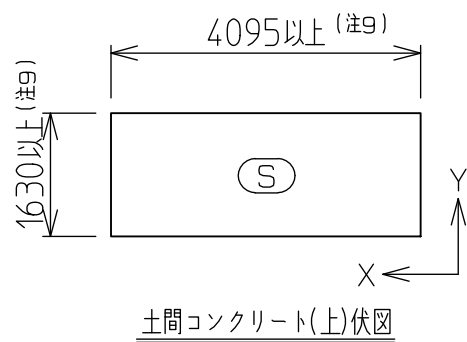
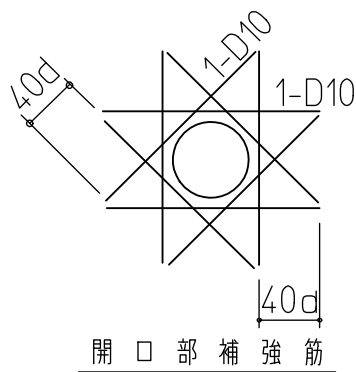
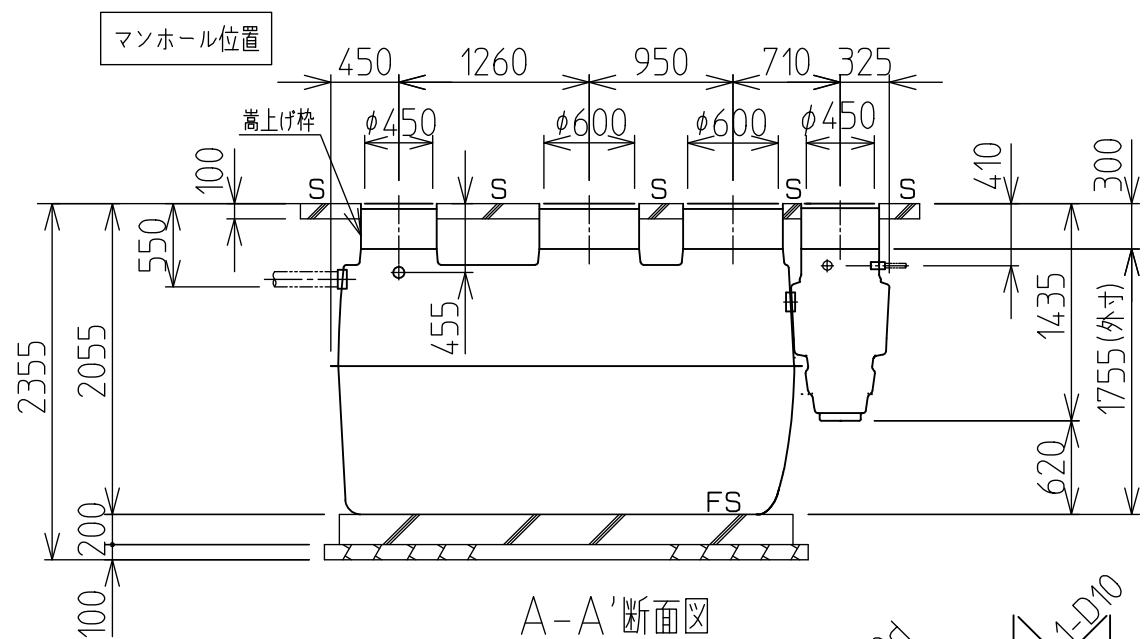




平面図



注記)

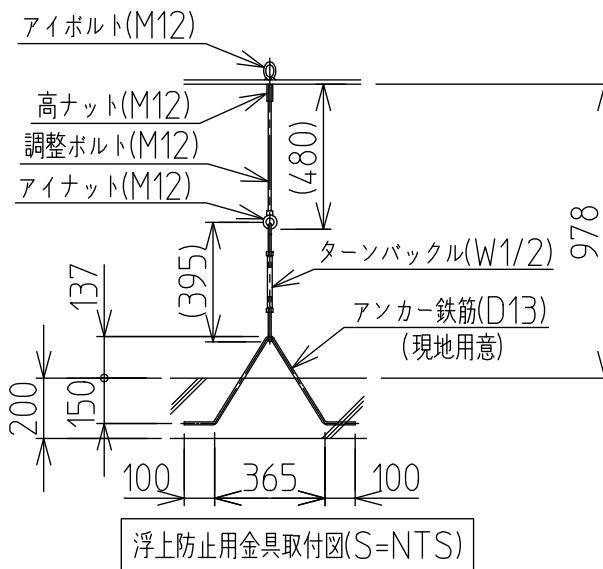
1. 本図は施工図(例)です。設置場所の状況を確認の上、工事の仕様を検討し、施工してください。
2. 本図面は、車両総重量2.0t以下の駐車場に設置する、浄化槽支柱無し工事の施工図です。
3. 浄化槽は駐車場の下に設置してください。
(車が通過する場所は車両重量の他、走行による衝撃荷重がかかりますので避けてください。)
4. 車両等の重量に耐える地盤(長期許容地耐力が49kPa以上)に駐車場を設置してください。
5. 最高地下水位1m以下の場所に設置してください。
6. 積雪高さ1m以下の場所に設置してください。
7. 浄化槽はマンホールが車両の中央になるように設置してください。
8. 土間コンクリート(上)が地盤沈下しないように良質土にて水締めしながら埋め戻しをしてください。
9. 土間コンクリート(上)の寸法は、土肩に200mm以上かかる大きさとし、掘削する穴の大きさに合わせて変更してください。
10. 土間コンクリート(上)は、マンホール補強筋を必ず入れてください。
11. 平面図の土間コンクリートは省略しています。
土間コンクリートの寸法は土間コンクリート(上)、(下)伏図を参照ください。
12. 嵩上げ枠は現地にて高さを調整して施工ください。
13. 屋外防水コンセント(アースターミナル付)を用意してください。(別途工事)
電源の一次側には、漏電遮断器(ELB)を付けてください。
(放流ポンプの電源には、各ポンプ毎に1個ずつ取付けてください。)
14. 流入管、流出管、臭突管、空気管(浄化槽~機器)、電気配線、電線管は現地にて用意ください。
15. プロワは仕様が異なる場合があります。
16. 放流ポンプの配管は、内径28mm以上の電線管を使用してください。
(電線管内にポンプのプラグを通す場合は、内径36mm以上の電線管を使用してください。その際、電線管の接合部は、発泡ウレタンにより気密シールを行ってください。)
17. 放流ポンプの電線管端部は、発泡ウレタンにより気密シールを行ってください。
18. 放流ポンプ槽が付く場合は、必ず臭突管工事を行ってください。
19. 工事前に施工要領書をお読みいただき、正しい施工を行ってください。
20. 行政庁等の指導がある場合は、行政庁等の指導に従ってください。

配		筋		仕		様	
名 称		版 厚		符 号		仕 様	
土間 コンクリート(上)		100	S	X方向	D10 @200 シングル		
				Y方向	D10 @200 シングル		
土間 コンクリート(下)		200	FS	X方向	D10 @200 ダブル		
				Y方向	D10 @200 ダブル		
(注記)							
鉄筋				: SD295A			
コンクリート				: FC=21N/mm ²			
開口部補強筋				: 各 1-D10			
地業				: 砕石地業			
マンホール仕様				: T-2仕様、安全荷重5kN			

浄化槽寸法(mm)
W1230 × L3695 × H1755

浮上防止用具(オプション例)

浮上防止用具(オプション)は、湧水があり槽が湧水により浮上する恐れのある場合に取付けてください。
浮上防止用具取付時の底版厚は、200mmとなります。



注記: 浮上防止用具、アンカー鉄筋等は、取付後土埋部に防錆塗装してください。
アンカー鉄筋は現地用意としてください。

製図	ヒラカワ	18-12-04	第三角法		品名 T-2支柱無し仕様、深埋め300、湧水 KGRN-10P 施工図(例)
審査	ツカモト	18-12-04	入庫入	尺度	
			18-12-04	1:50	
承認	ヒビノ	18-12-04	庫	結城図番	YUD164348
株式会社 ハウステック					△